

銀河通信

NPO 法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 0277-43-6151 Fax 0277-46-9504

今年の総会は・・・

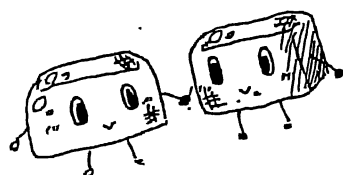
～これまで支えてくれた方々に感謝する総会でした～

5月18日(日)、いちばん星を会場に従来の対面スタイルで開催しました。

令和6年度は、子どもたちは変わらないものの、放課後等デイサービス事業は報酬改定に振り回された感がありました。また、平成16年から長年「蔵王すずしろ」の豆腐販売をしてきましたが、物価高騰等による経費等の増加が響いて、令和5年12月末日で休止をすることになりました。貴重な活動資金として、そして「北斗七星の家」の作業としても利用者の「お仕事」という位置づけで定着していたので、残念です。あの「おいしいお豆腐」が恋しいです。



総会での大きな議題は、賛助会員制度の見直しでした。昨年の総会では、平成14年に開始した賛助会員制度は続けるものの、経済的な自立をする、福祉サービスが充実してきたということで会費をゼロにするというものでした。その後、1年間の活動を通して、会員や賛助会員の減少を改善することの難しさ、私たちの年齢や体力を考慮すると、このまま漫然(?)とした活動をする



ことはいかなるものかと。これからは次世代にどう繋げていくかを考える時期ではないかと。こんなことを話し合っていると、これまでたくさんの方々に応援していただいたことが、私たちにとって大きな大きな「宝物」だということを再確認することになりました。

今年は北斗七星30周年です。これからは後輩のための活動に、そして社会貢献という意味合いが強くなっていくように思います。

そこで、賛助会員の皆さんやこれまで携わっていただいた方々に感謝をしつつも、賛助会員制度を終了することを提案し、決議されました。

本当に感謝の言葉しか見つかりません。ありがとうございました。

近年は、これまで一緒に活動してきた仲間の子どもたちが、入所する年頃になり、親元から巣立っていくことがチラホラ……。ちょっと寂しいこともありますが、何となくホッとしているのも正直なところですよ。

腰が痛い・・・腕が上がらない・・・階段がきつい・・・最近では人の名前が・・・
なんて会話が多くなってきてますが、それでも、
もう少し頑張ってみようかな・・・と。



お勧め図書館

「mothers. マザーズ」

草原うみ 著 TWO VIRGINS 1,360 円

群馬県出身の漫画家さんの短編作品集です。

子どもの頃、親の気持ちがわからないと思うことがよくあった。そして自分が親になるとあら不思議、子どもの気持ちが理解できずに悩んだりしている。時代や環境の違いはあれど、通ってきた道なのに。

この作品集にはそんな親と子の、家族の、また人と人との関わりのさまざまな形を気付かせてくれるヒントが隠れています。

SNS 等で他者と積極的に関われる時代、自分の繊細さを訴えながら他者の心に踏み込んでいく人もいる。気持ちを伝えるツールは増えたのに伝わらないことも多い。そんなことの大切さに気付かせてくれる本です。

(森)

北斗七星 今昔物語

ほくとしちせい
北斗七星
Hokuto Shichi-sei

昔々(30 年前)、障害児が家族に加わると

子どもの預け先に四苦八苦。家族に何か事が起きても、兄弟児の学校行事に参加するにも……

ましてや、自分が体調崩したりなんて(体調は気合で崩しませんでした笑)

頼れるのは爺じや婆ば、当時はお母さん同士の繋がりに助けられたことも。 **現在はどうと……**

保育園も多動過ぎて預かってくれるところを地元で探しても思った **障害児保育なるものが確**

ように見つからず、学校へ上がる頃になると、支援学校に **立し、児童発達支援事業所があ**

なるのか支援学級になるのかの選択もどうして **います。学校を選ぶ前にも相談できる機会**

よいものかと迷いまくり。とにかく情報が欲しくても **が増えていて、安心感が得られるのは親にと**

黙っていたは辿りつけませんでした。 **っては心強くなっています。入学してからも、**

それならばと、北斗七星のみんなと **放課後等デイサービスを利用して、子どもの第3の**

勉強会を開催。制度が変わるたびに **居場所ができ、いろいろな人と関わることで成長を促し**

講師を呼んだり、施設を自分の **ていけています。親も仕事をするという選択肢もできまし**

目で見に行ったりと、 **た。ただ、SNS を利用して大体の情報は入手できる時代にな**

あの頃は若かったー!!ー!! **ってきましたが、その情報の信憑性は自身で判断しなければなら**

そんな中で今の「北斗七星の家」 **ません。最後は自分の目と耳と鼻と、五感を使って……、**

「きらきら星」「いちばん星」が **それはそれで大変な時代になりました。**

誕生していったのでした。 **でも、いつの時代も子どもを中心とした思いを忘れずに、**

それぞれが人生を楽しんでいけたらいいなと心から願っています。

編集後記

6 月とは思えない暑さが続きましたが、皆さんは体調を崩していませんか。いちばん星の畑の野菜も順調に大きくなってきて、このまま夏休みの食材に加われればいいなと、毎日眺めています。指導員は毎年のごとくお昼の献立をあれやこれやと考える真っ最中ですが、夏休みが楽しみでもあります。体力勝負の季節に突入します。